

2020年度 第2四半期決算説明

東洋紡株式会社

お詫び

2020年9月27日、当社犬山工場で発生しました火災事故により、亡くなられたお二人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族に対し心よりお悔やみ申し上げます。

また、関係者の皆さまには、多大なるご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを、心からお詫び申し上げます。

火災の概要

1. 発生日時 2020年9月27日21時頃（9月28日1時 鎮圧）
2. 発生場所 犬山工場（愛知県）
3. 被害状況 死亡2名（従業員）、負傷1名（従業員） 職場復帰
4. 火災概要 犬山工場 包装用フィルム製造棟の建屋、および生産設備の一部が損傷
5. 原因と対策 事故調査委員会を立上げ、原因を調査中。
関係省庁のご指示の下、適切な対策を講じてまいります
6. 再開状況 出荷は、一部の製品を除き、9月30日より再開。
関係省庁より稼働の許可を得ている生産設備は、安全を確認した上で、順次再開
7. 業績への影響 重大な影響が見込まれると判断される場合には、速やかにお知らせします

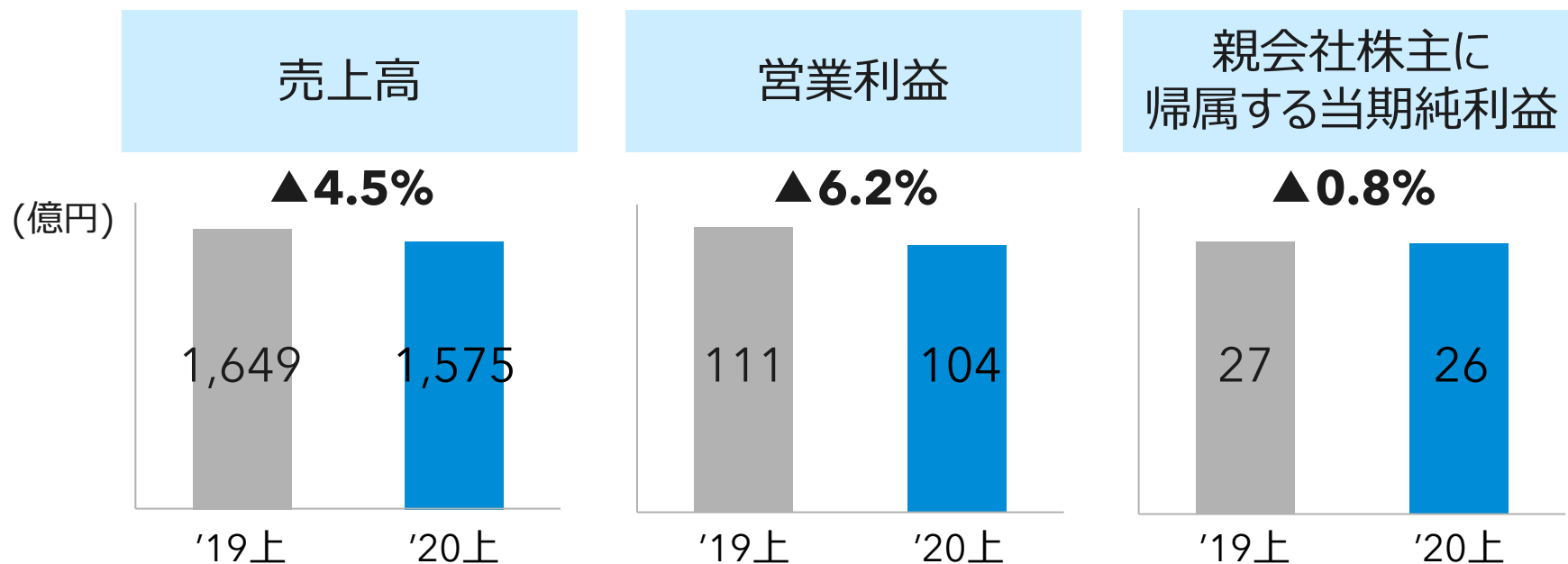


1. 2020年度第2四半期決算

決算のポイント

上期実績

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、減収減益も、フィルム事業が堅調に推移したことから、小幅の減益にとどまる
- ・売上高 1,575 億円（4.5%減）、営業利益 104 億円（6.2%減）



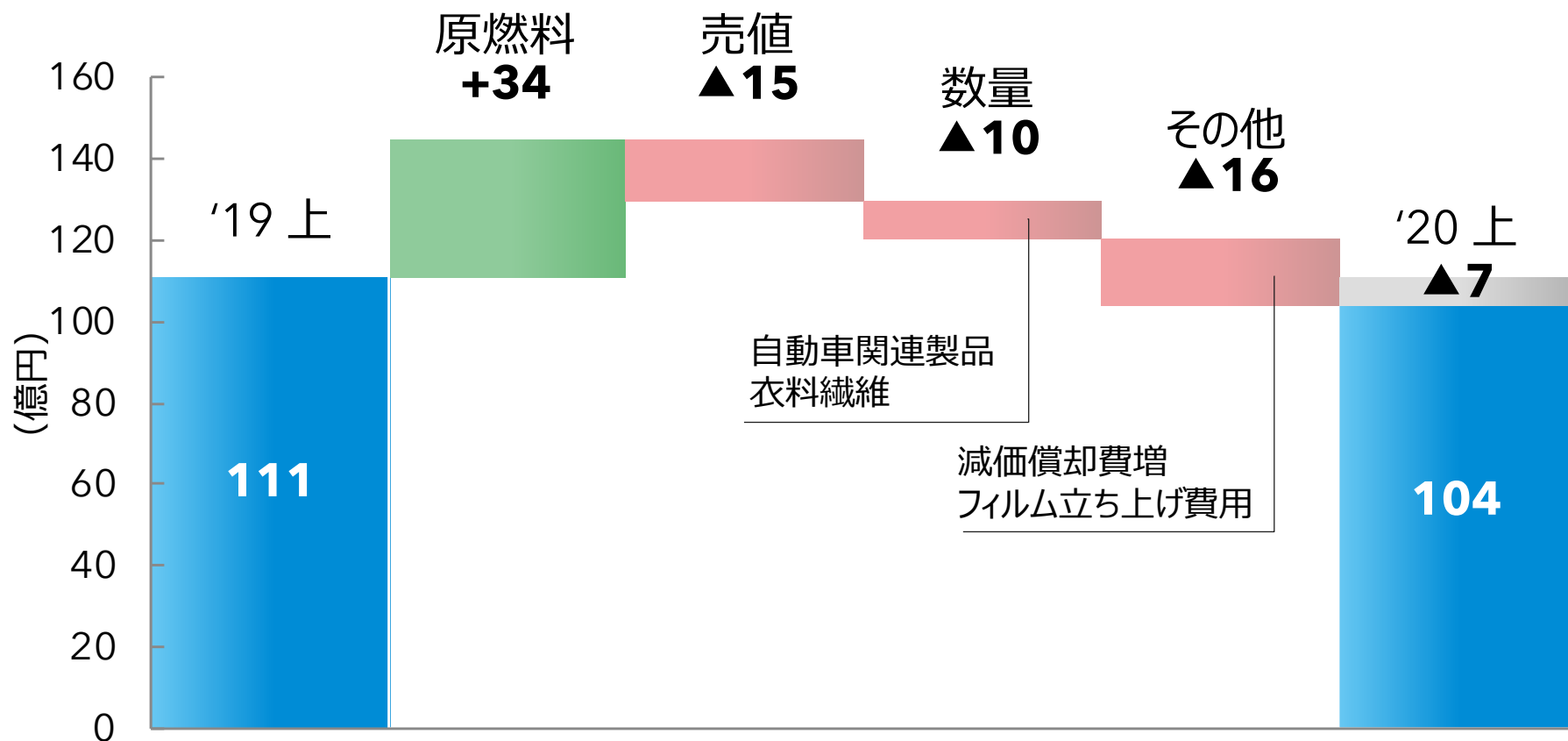
決算サマリー | PL



(億円)

	19年度		20年度	増減	
	上期	下期	上期	金額	率
売上高	1,649	1,747	1,575	▲ 74	▲ 4.5%
営業利益	111	117	104	▲ 7	▲ 6.2%
(率)	6.7%	6.7%	6.6%	-	-
経常利益	90	91	59	▲ 31	▲ 34.6%
特別損益	▲ 48	64	▲ 19	+28	-
親会社株主に帰属する当期純利益	27	111	26	▲ 0	▲ 0.8%
EBITDA* <small>* 営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)</small>	192	206	195	+4	+1.8%
EPS (円)	30.0	125.1	29.7	-	-
ROE* <small>* 20年度上期は年換算ベース。 (当期純利益×2)÷期首・期末平均自己資本</small>	7.8%		3.0%	-	-
営業CF	145	297	134	▲ 11	▲ 7.7%
減価償却費	81	89	91	+10	+13.0%
設備投資	144	221	118	▲ 25	▲ 17.6%
為替レート (円/US\$)	109	109	107		
国産ナフサ (千円/kl)	43	43	28		

営業利益の増減要因



	19年度 上期	20年度 上期
為替レート (円/US\$)	109	107
国産ナフサ (千円/kl)	43	28

決算サマリー | BS



	(B)		(A)	(億円)
	19/3末	20/3末	20/9末	増減(A)-(B)
総資産	4,610	4,889	4,870	▲ 19
現預金	223	252	300	+48
たな卸資産	768	806	805	▲ 1
固定資産	2,679	2,825	2,876	+52
純資産	1,812	1,826	1,835	+9
自己資本	1,766	1,779	1,791	+12
うち利益剰余金	519	619	610	▲ 9
非支配株主持分	46	47	44	▲ 3
有利子負債	1,648	1,751	1,893	+141
D/E レシオ	0.93	0.98	1.06	-
Net D/E レシオ*	0.81	0.84	0.89	-

* 「(有利子負債－現預金) ÷ 自己資本」にて算出

フィルム・機能マテリアル



(億円)

	19年度			20年度			上期増減	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率
売上高	295	304	599	363	375	738	+139	+23.1%
営業利益	33	40	73	39	48	87	+14	+19.5%
(率)	11.3%	13.0%	12.2%	10.8%	12.8%	11.8%	-	-

包装用フィルム

- 新型コロナウイルス感染症拡大による業務用製品等の販売減少を、巣ごもり特需がカバー
- 環境意識の高まりにより、環境対応製品が販売を伸ばす

環境に配慮した包装用フィルム

- ・リサイクル樹脂使用比率80%以上のフィルム“サイクルクリーン”など
- ・2020年度上期は、約5%増収。
包装用フィルムに占める割合は、約20%に



フィルム・機能マテリアル

工業用フィルム

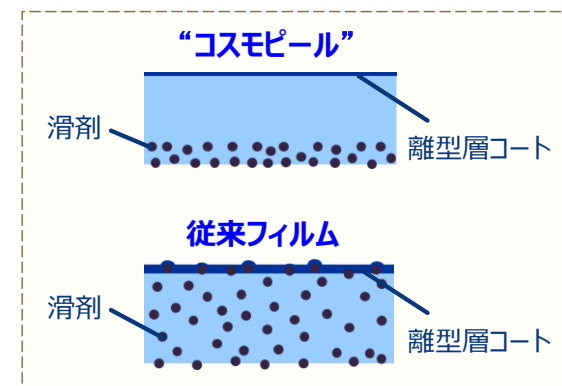
“コスモシャインSRF”

- ・2020年度上期は、約 30 %増収
- ・2020年7月より、新機台が量産開始。生産能力約1.5倍に
- ・非吸湿性、耐久性に優れ、大型テレビ向けを中心に拡販



セラコン用離型フィルム“コスモピール”

- ・2020年度上期は、約 5 %増収
- ・車載用途で生産調整の影響あり



機能マテリアル

- 工業用接着剤“バイロン”、ポリオレフィン用接着性付与剤“ハードレン”は、自動車用途、電材用途で苦戦



(億円)

	19年度			20年度			上期増減	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率
売上高	117	105	222	68	82	150	▲ 72	▲ 32.3%
営業利益	3	▲ 7	▲ 4	▲ 7	▲ 6	▲ 13	▲ 9	-
(率)	2.7%	-	-	-	-	-	-	-

エアバッグ用基布

- 自動車減産の影響などにより、米国・タイの販売が大幅に落ち込み30%減収。
今後は、需要回復見込み

エアバッグ用原糸製造

- ・Indorama Polyester Industries PCL（略称：IPI、所在地：タイ）と合併会社設立
Toyobo-Indorama Advanced Fibers PCL（略称：TIAF、所在地：タイ）
- ・出資比率 東洋紡 50%、IPI 50%
- ・設立時期 2020年11月、稼働開始 2022年春（予定）
- ・年間生産能力 11,000トン

エンジニアリングプラスチック

- 中国・米国を中心に回復傾向も、対前年同期では、販売減少



(億円)

	19年度			20年度			上期増減	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率
売上高	307	331	638	229	273	502	▲ 136	▲ 21.4%
営業利益	9	15	24	3	14	18	▲ 6	▲ 26.8%
(率)	2.9%	4.6%	3.8%	1.5%	5.2%	3.5%	-	-

環境ソリューション

- VOC処理装置・エレメントは、コロナ拡大以前の受注残もあり堅調

不織布

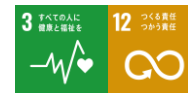
- 自動車向けのスパンボンド、および事務機器向けのフィルターが苦戦
空気洗浄機やマスク向けのフィルターは堅調

繊維機能材

- 衛材用のポリエステル短繊維、寝具向け“ブレスエア―”は、堅調
- “ツヌーガ”は、工場向け手袋の需要が減少

衣料繊維

- 店頭販売の不振により、受注大幅減



(億円)

	19年度			20年度			上期増減	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	金額	率
売上高	60	65	125	63	60	124	▲ 1	▲ 1.1%
営業利益	9	11	20	10	6	16	▲ 4	▲ 20.4%
(率)	14.6%	17.4%	16.1%	15.7%	10.0%	12.9%	-	-

バイオ

- 生化学診断薬用原料、一般検査の需要減少
- PCR関連の検査用原料、研究用試薬は、販売を大きく伸ばす

“GENECUBE”用新型コロナウイルス遺伝子検査試薬

- ・検査室への検体到着から最短約35分で新型コロナウイルスを検出
- ・自動検査により、新型コロナウイルスの臨床現場即時遺伝子検査が可能

メディカル

- “ナーブリッジ”の販売は、前年度並み
- 透析用中空糸膜は、販売堅調



医薬

- 操業が一部停止した影響により、苦戦

新型コロナウイルス感染症への対応

従業員とその家族の「安全」「健康」を最優先し、社会を、会社を守ることを第一としています。
また、保有する製品・サービスの提供を通じた貢献に積極的に取り組んでいます。

従業員

- ・感染予防対策、感染者発生時対策を継続
- ・在宅勤務や時差出勤を継続
- ・本支社の出勤率6割以下（～11月）

財務

- ・OC100 (Overcome Corona 100)
 - ・不急のキャッシュアウトの時期見直し
 - ・在庫の削減
 - ・工場のコストダウン

工場・生産活動

- ・機動的な在庫・生産調整

事業での貢献

- 開発・生産・販売、かつ、自治体へ寄贈
- ・PCR検査用試薬・キット
 - ・フィルター、マスク材料、医療用ガウン、医療用フェイスシールド材料
 - ・エアバッグ用基布を活用した防護服





2. 2020年度業績見通し

2020年度業績見通し

上期は小幅減益にとどまるも、依然不透明感も強く、
通期の予想営業利益は 200 億円に据え置く

(億円)

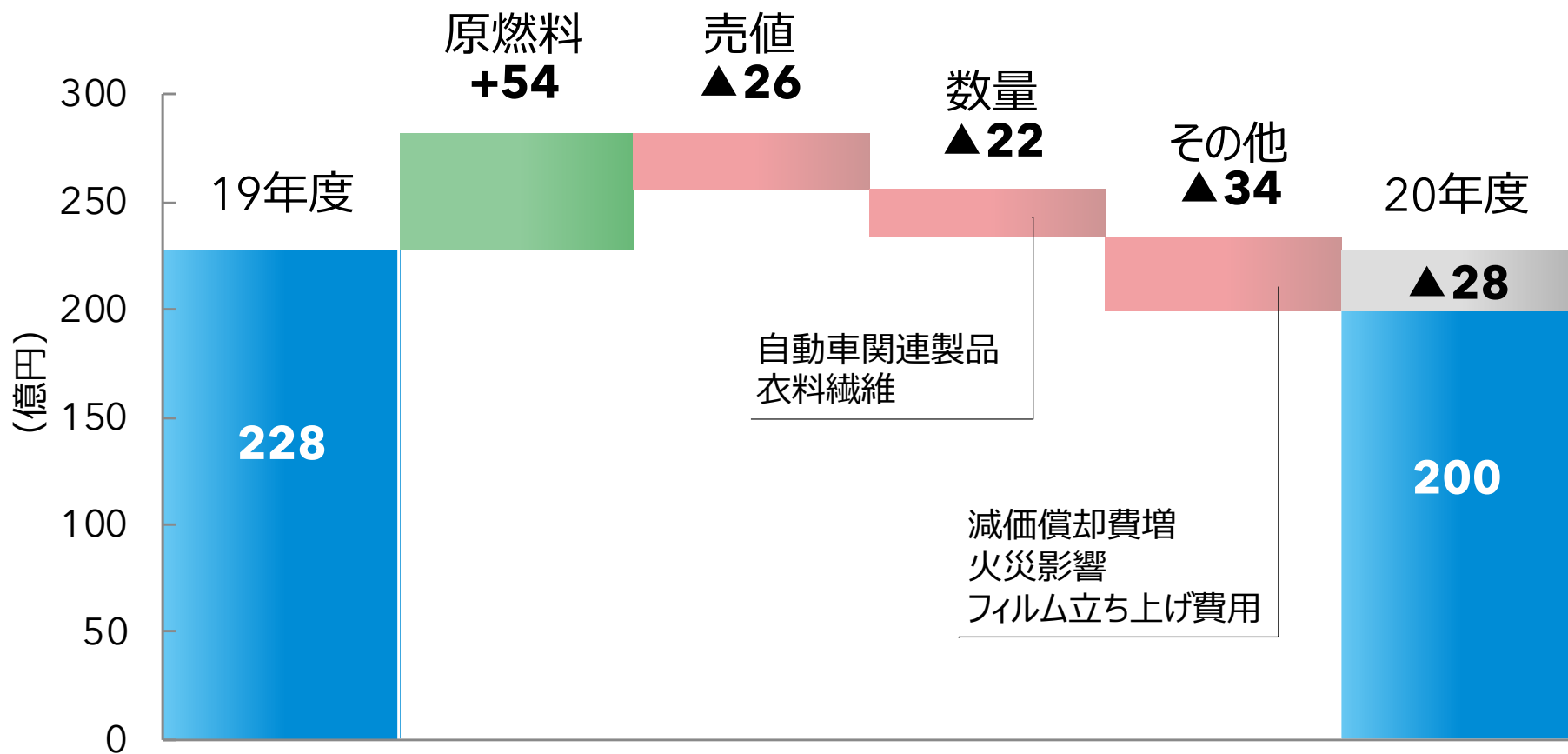
	19年度	20年度			増減	
	実績	上期	下期	見通し	金額	率
売上高	3,396	1,575	1,725	3,300	▲96	▲2.8%
営業利益	228	104	96	200	▲28	▲12.3%
(率)	6.7%	6.6%	5.6%	6.1%	-	-
経常利益	180	59	81	140	▲40	▲22.4%
特別損益	17	▲19	▲23	▲42	▲59	-
親会社株主に帰属する当期純利益	138	26	44	70	▲68	▲49.2%

EPS (円)	155.1	29.7	49.1	78.8	-	-
---------	-------	------	------	-------------	---	---

減価償却費	170	91	97	188	+18	+10.6%
設備投資	364	118	147	265	▲99	▲27.3%

為替レート (円/US\$)	109	107	108	107
国産ナフサ価格 (千円/kl)	43	28	36	32

営業利益の増減要因



	19年度	20年度
為替レート (円/US\$)	109	107
国産ナフサ (千円/kl)	43	32

セグメント別見通し

(億円)

	売上高		営業利益		
	19年度 実績	20年度 見通し	19年度 実績	20年度 見通し	増減
フィルム・機能マテリアル	1,271	1,480	146	158	+12
モビリティ	439	350	▲ 7	▲ 19	▲ 12
生活・環境	1,284	1,090	59	40	▲ 19
ライフサイエンス	255	250	38	35	▲ 3
不動産・その他	146	130	26	20	▲ 6
消去・全社	-	-	▲ 34	▲ 34	+0
合計	3,396	3,300	228	200	▲ 28

※当年度より報告セグメントの区分を変更しており、19年度実績は、変更後の区分に組み替えた数値としています。
 ※19年度実績は監査前の数値となります。

安全最優先への決意

当社は、一昨年（2019年）の敦賀事業所での火災事故を踏まえ、二度と火災事故を起こさないという決意で、外部専門家の診断・指導等も受けながら、防災対策を進めてきました。しかしながら、今回、大切な従業員の命を失う大事故を起こしてしまいました。

「安全」「防災」を当社グループの最優先課題として、これまでの保安防災活動に欠けていたこと、不足していたこと等を徹底的に究明し、今度こそ、二度とこのような事故を起こさない安全な会社にしていきます。

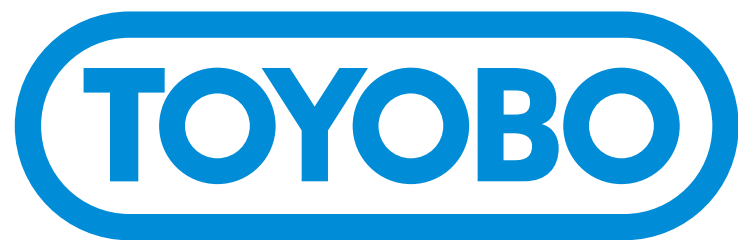
今回の火災事故で失った信頼の回復に向けて、全社一丸となって安全管理の徹底を図り、再発防止に努めてまいります。今後とも、当社グループに対し、何卒ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 檜原 誠慈

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

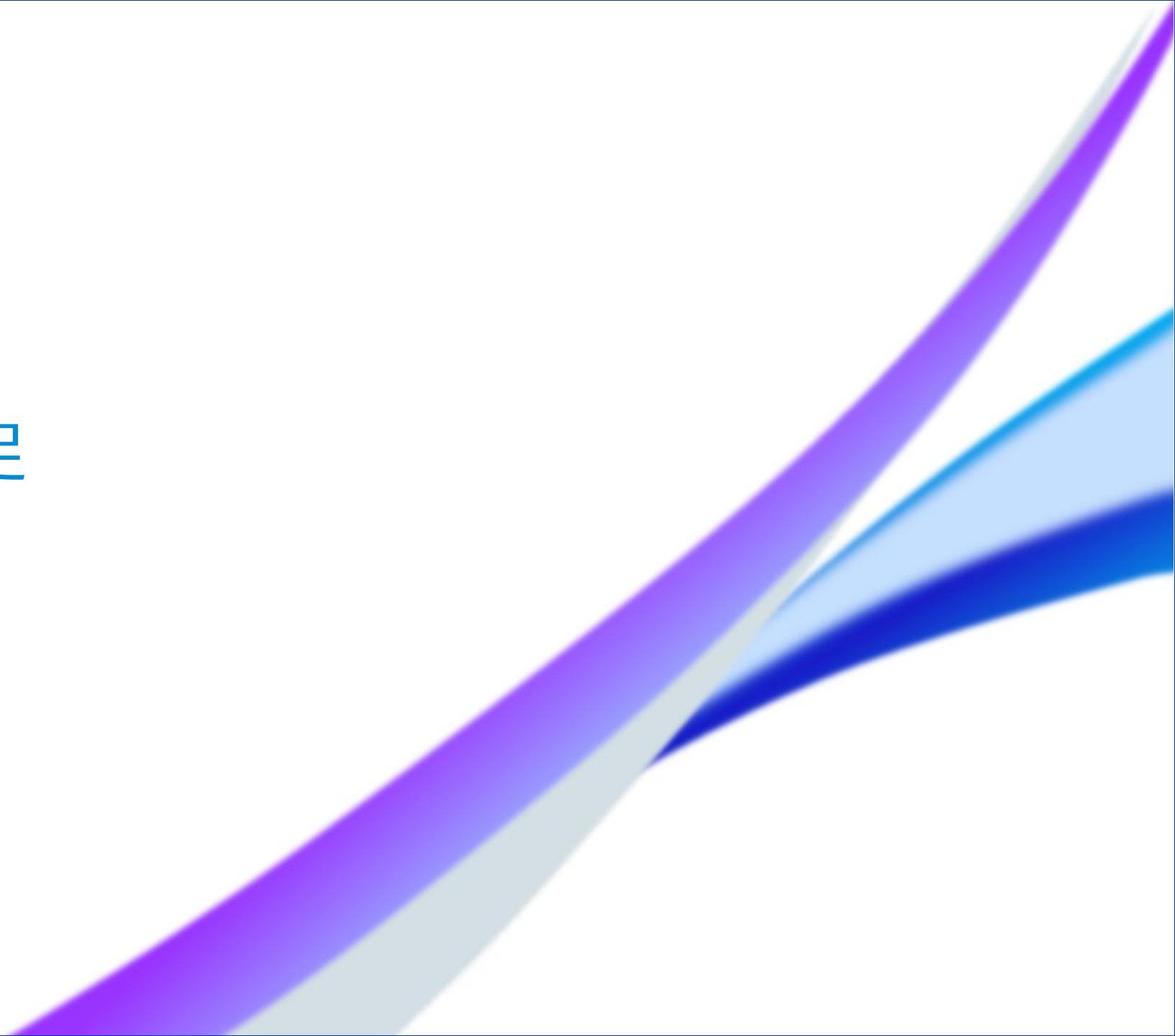
東洋紡株式会社



All Rights Reserved



補足



マテリアリティの特定

マテリアリティの前提となる基本事項

コーポレート・ガバナンス

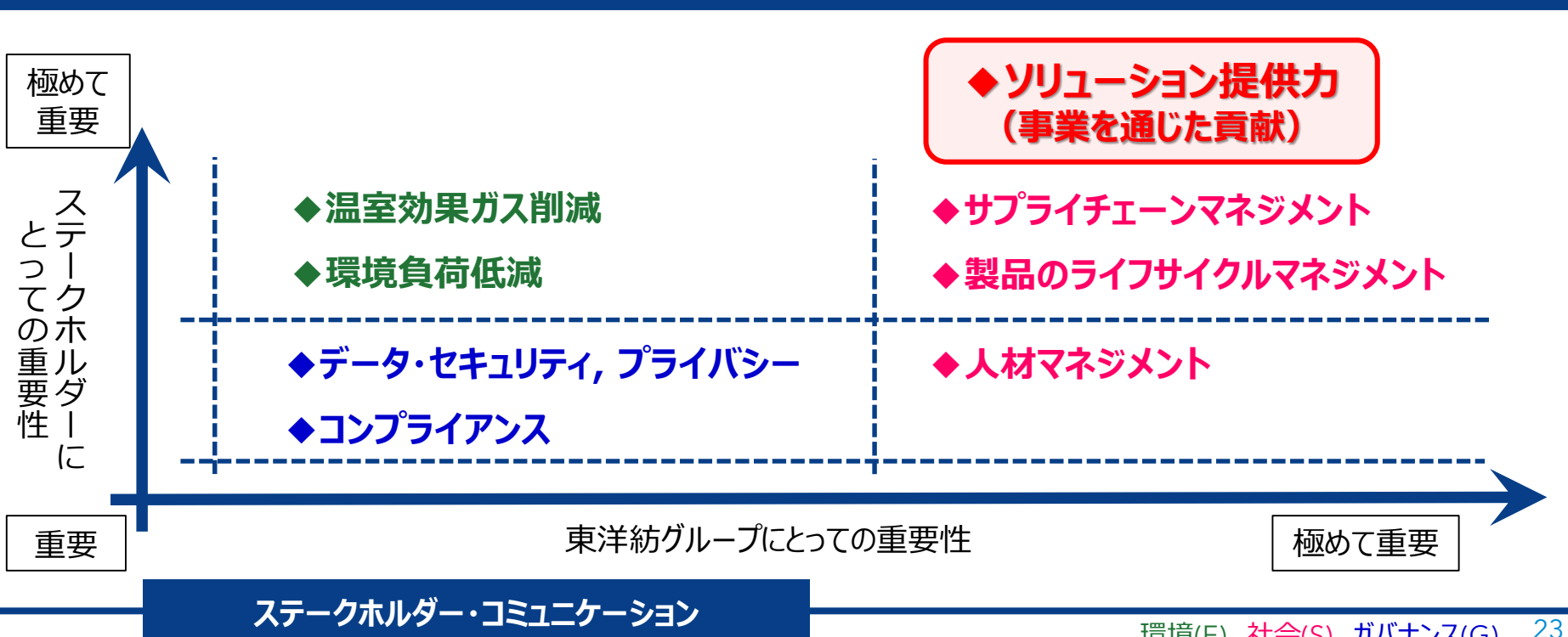
人権の尊重

安全・防災・品質

「人と地球に求められるソリューション」を創造し続けるグループ

未来への責任に基づくイノベーション：

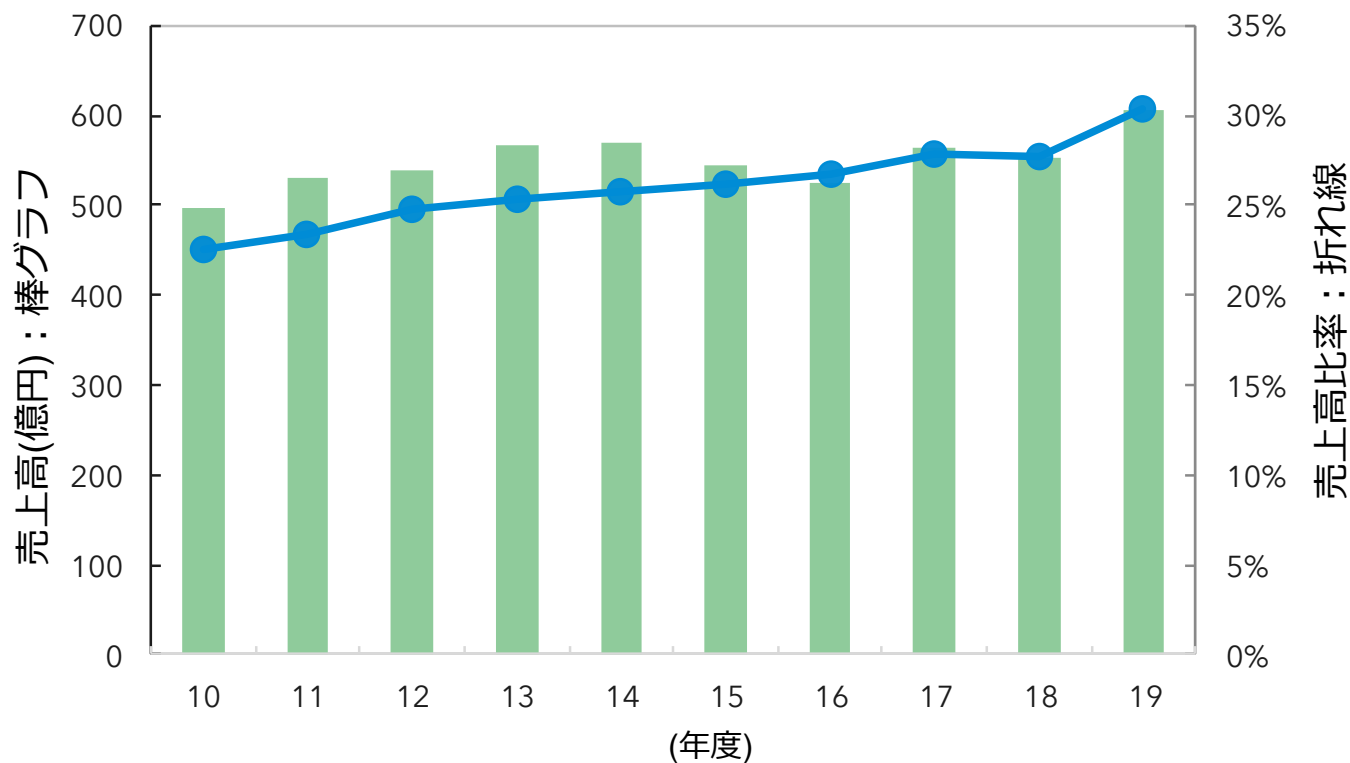
「クリーンテクノロジー」「高いQoL」「新しい移動空間」の実現



環境配慮製品 | エコパートナーシステム



- 19年度 売上高比率30.4%、売上高606億円
- 原材料から廃棄までを6ステージに分け、ステージ毎の環境影響を評価
- 「地球温暖化防止」など5基準
- 19年度、目標としていた売上高比率30%を達成。新たな目標の設定へ



※東洋紡(株)単体での集計結果です。

環境配慮製品 | エコパートナーシステム



19年度売上高606億円

※各数字は売上高。複数の基準で認定するため、重複を含みます。
例：“エコシアール”は、化学物質削減と、省資源に該当



“エコシアール”（フードロス削減）

228億円

省資源

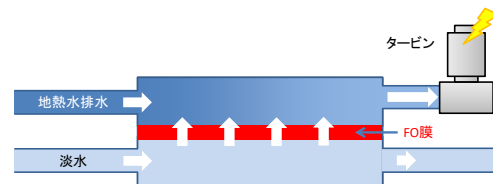


“サイクルクリーン”（リサイクル樹脂使用）

258億円

廃棄物削減

削減



正浸透膜（FO膜）
（浸透圧発電）

260億円

温暖化防止



VOC回収装置

化学物質削減

327億円

5つの
評価基準

その他の
環境貢献

264億円



海水淡水化用逆浸透膜 “ホロセップ”

セグメント別情報



(億円)

売上高	19年度					20年度		
	1Q	2Q	上	下	通期	1Q	2Q	上
フィルム・機能マテリアル	295	304	599	672	1,271	363	375	738
モビリティ	117	105	222	217	439	68	82	150
生活・環境	307	331	638	646	1,284	229	273	502
ライフサイエンス	60	65	125	130	255	63	60	124
不動産・その他	29	36	65	81	146	31	31	62
消去・全社	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	808	841	1,649	1,747	3,396	755	821	1,575

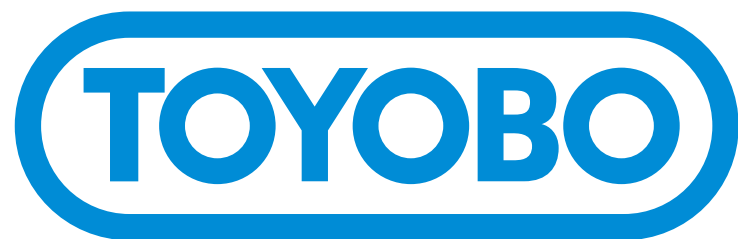
営業利益	19年度					20年度		
	1Q	2Q	上	下	通期	1Q	2Q	上
フィルム・機能マテリアル	33	40	73	73	146	39	48	87
モビリティ	3	▲ 7	▲ 4	▲ 3	▲ 7	▲ 7	▲ 6	▲ 13
生活・環境	9	15	24	35	59	3	14	18
ライフサイエンス	9	11	20	18	38	10	6	16
不動産・その他	6	6	13	14	26	5	6	10
消去・全社	▲ 8	▲ 7	▲ 15	▲ 20	▲ 34	▲ 7	▲ 7	▲ 14
合計	52	59	111	117	228	44	61	104

※当年度より報告セグメントの区分を変更しており、19年度実績は、変更後の区分に組み替えた数値としています。

※19年度通期・下期は監査前の数値となります。

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社



All Rights Reserved